

教育研究評議会議事録

日時：平成24年7月19日（木）14:40～16:45

会場：旧工学部第1会議室

出席者：(略)

第1 紹介

新任構成員について紹介があった。

第2 審議事項等

1 国立大学協会総会について

6月18日に開催された国立大学協会総会について報告があった。

2 役員会について

6月14日、6月21日、7月2日及び7月9日に開催された役員会について報告があった。

3 経営協議会について

6月21日に開催された経営協議会について報告があった。

4 受賞について

大学院システム情報科学研究院 櫻井幸一 教授が次の賞を受賞した旨の報告があった。

- ・第26回（2012年度）独創性を拓く先端技術大賞 経済産業大臣賞

5 平成24年度科学研究費助成事業の交付内定状況について

平成24年度科学研究費助成事業における特別推進研究等7種目に係る、本学を含む学術研究懇談会（RU11）参加大学の交付内定状況について報告があった。

6 寄附講座等の設置更新について

次の寄附講座の設置更新について報告があった。

- ・電気エネルギー環境工学講座（システム情報科学研究院）

7 国際交流協定の締結等について

国際交流協定の締結状況について報告があった。

- ・大学間交流協定について 改訂締結2件
- ・部局間交流協定について 締結1件、締結承認5件

8 基幹教育カリキュラムの基本構想について

基幹教育カリキュラム基本構想部会における検討内容に基づき、基幹教育カリキュラムの基本方針、今後の検討スケジュール及び検討体制等について報告があった。その際、以下のような意見等があった。

- ・ 現在1年次を対象に行っている部局に特化した内容の教育は行うことができなくなるのか。
→ 基本的には特定の部局に特化するような内容のものは行わないという方向性で考えているが、今後部会等で慎重に検討していきたい。
- ・ 芸術関係の科目を構成することができるというのは、本学における大きな特徴だと思うので、今後検討していく上で重視していただきたい。
- ・ 現在、部局で実施しているコアセミナーとの関係はどうなるのか。
→ 基幹教育においては、現在、部局で実施しているコアセミナーを代替するようなものは考えていない。必要ということであれば、各部局においてプラスアルファで実施していただくことは問題ないと考えている。
- ・ 英語教育については、外国での研修等も含まれているのか。
→ 可能性の一つとしてある。英語教育については英語WGにおいて検討していくが、英語教育はかなり変わっていくことになると思う。英語そのもので授業を行う、英語の教材を用いる等、グローバル人材育成に対応するような方法について検討していく。
- ・ 1年次のクラス編成は学部・学科単位で行うのか。
→ 今後検討していく事項ではあるが、学部・学科を基礎として行うことになるのではないかと考えている。ただし、少人数セミナー等については、学部・学科単位ということにはならないだろうと思う。

9 平成24年度秋季学位記授与式について

9月24日に実施する平成24年度秋季学位記授与式の式次第等について報告があった。

10 平成24年度秋季入学式・外国人短期留学プログラム開講式について

10月1日に実施する平成24年度秋季入学式・外国人短期留学プログラム開講式の指揮次第等について報告があった。

11 定年教授に対する非常勤講師の委嘱について

総合理工学府における定年退職教授への非常勤講師の委嘱について説明があり、審議の結果、これを議決した。

12 学内規則の改正について

学術研究推進支援機構に係る新たな職種の配置及び部門名の改称並びに福岡国際交流会館の一部を本学国際交流会館の施設として取り扱うことに伴い、学術研究推進支援機構規則及び国際交流会館規則を改正すること、また、就業に関する制度の変更について説明があり、審議の結果、これを議決した。

13 学生の懲戒処分について
＜非公開＞

14 職員の懲戒審査について
＜非公開＞

(以 上)